

# FD 研修報告書

人間文化創成科学研究科 榊原 洋一

## 【研修先】

Child Studies, Department of Education & Professional Studies  
King's College London, Franklin-Wilkins Building  
Rm 2/15 Waterloo Bridge Wing  
Waterloo Road London SE1 9NH, United Kingdom

## 【研修期間】

2012年2月25日～3月1日

## 【研修内容】

Child Studies は、ロンドン大学 King's College の専門教育学部にある博士前記課程のコースである。本コースは約25年前に、子どもの虐待にかかわる専門職の大学院としてスタートしたが、現在は虐待に限らず、子どもの権利、発達障害、障害児など幅広い子どもに関する issue について、イギリス国内だけでなく全世界から修士課程の学生を受け入れている。法廷弁護士 (Barrister) の資格を持つ、Ms. Driscoll 氏を director とし、3人の異なる専門を持つ vice directors (小児科学、心理学、教育学) が中心となり、department の所属教員が兼担で、学生指導に当たっている。学生はヨーロッパが中心であるが、アフリカやアジア (中国) からからも来ている。



大学院生のセミナーの様子

本コースでの研修を希望した理由は、本学の大学院の国際化に向けて、保育・児童学コースと dual program の提携先となる可能性を探ることであった。

研修中には、大学院生を対象とした授業への参加、コース学生への授業実施、ならびに vice director で小児科医である Dr. Lorek が兼任する地域の発達障害支援センター視察を行った。出席した授業は、児童虐待に関する法律、児童虐待の裁判症例検討、そしていじめ (bullying) の概論である。学生への講義では子どもの QOL と発達障害をテーマとして取り上げたが、department の教員を含めた出席者から多くの質問とコメントが寄せられた。発達障害支援センターは、日本の保健所に似るが、子どもの発達障害に特化したセンターであり、発達障害児の地域での支援にかかる有用なヒントを得ることができた。

Dual program にかかわる協定については、本学と同じくロンドン大学アジアアフリカ研究所 (SOAS) と本学の協定書をもとに協議を行い、現在 Driscoll 氏が必要書類の準備を開始している。準備書類が整い次第、正式に協定の可能性についてさらに協議を行う予定である。

